

## 消防団員の健康状態に関するアンケート調査の概要

消防基金では、消防団員の健康状態を把握するため、全国の消防団員を対象に、平成 26 年度と平成 9 年度に調査を実施しました。今回、それぞれの比較できるポイントを中心にまとめてみました。それぞれの表については、比較しやすいよう新たに編集して構成しています。

なお、各年度の調査については、その時に協力していただいた消防団員の傾向はみられるものの、無作為抽出が担保されているとはいえないことから、増減を比較することは行っていません。

(注 1) 百分率 (%) は、少数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで表示しているため、単数回答であっても、%を足し合わせても 100%にならない場合があります。

(注 2) 複数回答 (2 つ以上選んでよい問) については、%の合計が 100%を超える場合があります。

(注 3) 年代別の 20 歳未満は回答者数が少なく、比率が上下しやすいので触れていません。

### 【アンケートの調査対象等】

	調査期間	調査対象		有効回答者数	回答率
		消防団数	消防団員数		
H26	平成26年12月～平成27年1月	2,223団	22,000人	9,698人	44.1%
H9	平成9年8月～平成9年9月 ※消防庁からの受託事業として実施	3,637団	10,911人	8,322人	76.3%

### 【回答者】

	平均年齢 (歳)	男女構成 (%)	平均身長 (cm)	平均体重 (Kg)
H26	44.9	男 95.9、女 3.3	170.3	69.9
H9	41.6	男 98.2、女 0.4	169.0	67.4

年代別 (%)									
	未 満 2 0 歳	代 2 0 歳	代 3 0 歳	代 4 0 歳	代 5 0 歳	代 6 0 歳	以 上 7 0 歳	無 回 答	平 均 ( 歳)
H26	0.1	9.4	25.5	<b>29.6</b>	22.5	11.7	0.8	0.4	44.9
H9	0.0	15.0	<b>30.5</b>	30.3	16.1	6.0	0.7	1.2	41.6

※ 最大の数値を太字表示

	現在の階級 (%)									在団年数 (%)					
	団員	班長	部長	副分団長	分団長	副団長	団長	その他	無回答	5年未満	10年未満	15年未満	20年未満	20年以上	無回答
H26	<b>32.4</b>	14.6	11.8	7.7	23.0	5.4	2.8	1.5	0.6	15.4	14.5	16.8	14.5	<b>35.4</b>	3.4
H9	<b>33.8</b>	15.4	12.9	7.0	16.5	8.2	4.0	1.1	1.0	15.8	17.7	17.6	16.7	<b>30.1</b>	15.3

※ 最大の数値を太字表示

○肥満度

肥満度については、平成 26 年度は最大が 40 歳代で 10.8%、平成 9 年度は最大が 60 歳代で 9.3%となっています。

(%)

年代	H 2 6							H 9						
	－20%以下 (やせすぎ)	－10%以下 (標準)	±10%未満 (標準)	±10%以上 (標準)	＋20%以上 (太りすぎ)	無回答	平均 (%)	－20%以下 (やせすぎ)	－10%以下 (標準)	±10%未満 (標準)	±10%以上 (標準)	＋20%以上 (太りすぎ)	無回答	平均 (%)
全体	0.6	6.3	49.4	22.9	20.1	0.7	9.5	0.5	6.6	53.0	23.0	14.8	2.0	7.2
20歳未満※	-	16.7	66.7	8.3	8.3	-	1.1	-	50.0	50.0	-	-	-	5.4
20歳代	2.1	12.4	55.8	15.3	13.4	1.1	4.5	1.0	10.7	60.6	15.4	11.8	0.5	4.1
30歳代	0.7	7.8	52.1	18.6	20.1	0.8	8.7	0.6	7.2	54.9	21.6	14.9	0.9	6.8
40歳代	0.3	5.2	47.8	23.5	22.8	0.3	<b>10.8</b>	0.4	6.1	50.4	26.3	15.9	1.0	8.1
50歳代	0.3	4.5	46.4	27.3	21.0	0.5	10.6	0.2	3.9	51.5	26.6	15.9	1.9	8.6
60歳代	0.3	4.4	49.4	27.7	17.7	0.5	9.7	0.2	4.2	49.2	26.8	17.2	2.4	<b>9.3</b>
70歳以上	-	6.4	43.6	37.2	11.5	1.3	9.9	-	6.9	56.9	19.0	13.8	3.4	6.2

※サンプル数が 50 人未満と少ない（以下、全ての表で同じ）。また、年代別の最大数値を太字表示

$$\text{※肥満度} = \frac{\text{体重kg}}{(\text{身長m})^2 \times 22} \times 100 - 100$$

なお、平成 26 年度は、腹囲・血圧・中性脂肪等についても調査を行っています。

○腹囲

腹囲については、平均が 84.5 c m で、最大が 70 歳代の平均 86.6 c m となっています。

(%)

年代	腹囲 (c m)							平均 (c m)
	70未満	70~75未満	75~80未満	80~85未満	85~90未満	90以上	無回答	
全体	2.5	6.3	14.0	21.5	18.5	22.6	14.6	<b>84.5</b>
20歳未満	-	33.3	8.3	8.3	8.3	8.3	33.3	81.3
20歳代	6.7	11.5	15.9	14.6	8.2	12.2	31.0	80.3
30歳代	3.2	7.6	15.8	20.5	14.1	18.7	20.2	83.3
40歳代	2.1	6.4	15.3	24.4	19.2	23.4	9.3	84.6
50歳代	1.3	3.9	11.7	23.1	23.5	27.7	8.8	86.0
60歳代	1.1	3.7	10.5	19.3	25.0	28.3	12.1	86.2
70歳以上	1.3	3.8	9.0	21.8	26.9	19.2	17.9	<b>86.6</b>

※平均値のうち、全体の数値と年代別の最大数値を太字表示

○ 血圧

収縮期血圧（最高）140mmHg以上は、全体の15.3%となっており、「Ⅰ度高血圧」（13.7%）が多くなっています。

(%)

年代	収縮期血圧（最高）、※回答者数7,513人						平均 (mmHg)
	<120 (至適血圧)	120-129 (正常血圧)	130-139 (正常高値血圧)	140-159 (Ⅰ度高血圧)	160-179 (Ⅱ度高血圧)	≥180 (Ⅲ度高血圧)	
全体	29.0	31.6	24.1	<b>13.7</b>	<b>1.5</b>	<b>0.1</b>	125.5
20歳未満	60.0	40.0	-	-	-	-	117.8
20歳代	44.4	34.7	16.6	3.8	0.5	-	119.8
30歳代	38.3	33.5	19.3	8.5	0.3	0.1	121.8
40歳代	30.0	33.4	22.6	12.1	1.8	0.1	124.8
50歳代	21.4	30.1	28.7	18.0	1.6	0.2	128.4
60歳代	16.0	25.7	30.8	24.0	3.2	0.2	131.1
70歳以上	10.6	19.7	39.4	27.3	3.0	-	132.6

※ 本文に係る数値を太字表示

拡張期血圧（最低）90mmHg以上は、全体の16.5%となっており、収縮期血圧と比べ、Ⅱ度とⅢ度がわずかに高くなっています。

(%)

年代	拡張期血圧（最低）、※回答者数7,488人						平均 (mmHg)
	<80 (至適血圧)	80-84 (正常血圧)	85-89 (正常高値血圧)	90-99 (Ⅰ度高血圧)	100-109 (Ⅱ度高血圧)	≥110 (Ⅲ度高血圧)	
全体	49.9	21.2	12.4	<b>13.3</b>	<b>2.1</b>	<b>1.1</b>	78.4
20歳未満	80.0	-	-	20.0	-	-	74.8
20歳代	73.5	15.4	4.4	5.6	0.3	0.9	72.1
30歳代	60.2	18.5	8.9	10.2	1.3	0.9	75.7
40歳代	48.3	21.7	12.3	13.3	3.0	1.3	78.9
50歳代	38.1	23.1	16.5	18.7	2.4	1.2	81.3
60歳代	43.0	24.2	15.6	14.2	1.9	1.1	80.4
70歳以上	54.5	22.7	13.6	4.5	-	4.5	78.7

※ 本文に係る数値を太字表示

○ 中性脂肪ほか

中性脂肪150mg/dl以上は29.4%、平均値は133.3mg/dlとなっています。

HDLコレステロール（いわゆる“善玉コレステロール”）の40mg/dl未満は6.0%と低めですが、LDLコレステロール（いわゆる“悪玉コレステロール”）140mg/dl以上は23.7%と高めとなっています。

また、ヘモグロビンA1c 6.5%以上は10.0%とやや高めになっています。

<p>中性脂肪 ≥ 150 HDLコレステロール &lt; 40 LDLコレステロール ≥ 140 (日本動脈硬化学会 動脈硬化性疾患予防ガイドラインより)</p>	<p>ヘモグロビンA1c ≥ 6.5 (日本糖尿病学会 糖尿病診療ガイドラインより)</p>
--	--

(%)

年代	中性脂肪 ※回答者数5,427人		
	150未満	150以上	平均 (mg/dL)
全体	70.6	<b>29.4</b>	133.3
20歳未満	40.0	60.0	117.6
20歳代	84.3	15.7	102.8
30歳代	74.7	25.3	124.2
40歳代	67.1	32.9	141.2
50歳代	67.1	32.9	140.4
60歳代	70.4	29.6	135.4
70歳以上	74.1	25.9	119.8

(%)

年代	HDLコレステロール ※回答者数5,463人			
	40未満	40以上	無回答	平均 (mg/dL)
全体	<b>6.0</b>	94.0	0.0	61.8
20歳未満	20.0	80.0	-	55.0
20歳代	4.1	95.9	-	60.5
30歳代	6.8	93.2	-	59.3
40歳代	6.5	93.4	0.1	62.7
50歳代	5.5	94.5	-	62.5
60歳代	4.9	95.1	-	63.6
70歳以上	7.5	92.5	-	64.3

(%)

年代	LDLコレステロール ※回答者数5,387人		
	140未満	140以上	平均 (mg/dL)
全体	76.3	<b>23.7</b>	119.3
20歳未満	80.0	20.0	115.4
20歳代	87.0	13.0	105.9
30歳代	79.3	20.7	116.1
40歳代	71.9	28.1	122.7
50歳代	73.7	26.3	122.5
60歳代	79.5	20.5	118.4
70歳以上	86.5	13.5	117.1

(%)

年代	ヘモグロビン A1c ※回答者数3,209人		
	6.5未満	6.5以上	NGSP 平均 (%)
全体	90.0	<b>10.0</b>	5.6
20歳未満	100.0	-	6.0
20歳代	96.9	3.1	5.2
30歳代	94.4	5.6	5.4
40歳代	93.0	7.0	5.6
50歳代	86.9	13.1	5.8
60歳代	78.9	21.1	6.0
70歳以上	77.8	22.2	5.6

※ 上の4つの表のうち、本文に係る数値を太字表示

○ 年代別薬の使用の有無

平成26年度については薬の効用別に服用の有無を調査していますが、それぞれ「いいえ」の回答が多くを占めています。

それぞれの薬の服用については、高年齢になるほど、有の割合が高くなる傾向にあります。

(%)

H 2 6	血圧を下げる薬			インスリン注射または 血糖を下げる薬			コレステロール を下げる薬		
	有	無	無 回 答	有	無	無 回 答	有	無	無 回 答
年代									
全体	13.5	<b>76.5</b>	10.0	2.9	<b>84.6</b>	12.5	6.5	<b>81.8</b>	11.8
20歳未満	-	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-
20歳代	0.1	87.4	12.5	-	87.5	12.5	0.4	87.3	12.3
30歳代	1.8	86.8	11.3	0.7	87.8	11.4	1.7	87.1	11.2
40歳代	8.9	82.1	9.0	2.4	87.3	10.4	5.4	84.9	9.7
50歳代	24.2	67.0	8.8	3.9	82.4	13.7	10.3	77.1	12.6
60歳代	38.7	51.3	10.1	8.6	74.4	17.0	16.1	68.4	15.5
70歳以上	43.6	52.6	3.8	15.4	70.5	14.1	21.8	65.4	12.8

※ 本文に係る数値を太字表示

なお、平成9年度は、常用している薬の内容については不明ですが、その有無についてのみ調査を行っており、「いいえ」の回答が多くを占めています。

(%)

H 9	常用している薬の有無		
	有	無	無 回 答
年代			
全体	15.6	<b>82.3</b>	2.1
20歳未満	-	100.0	-
20歳代	4.5	95.0	0.6
30歳代	7.8	91.7	0.6
40歳代	16.2	82.0	1.8
50歳代	27.5	68.9	3.6
60歳代	44.4	46.8	8.8
70歳以上	37.9	44.8	17.2

※ 本文に係る数値を太字表示

## 【仕事】

### ○職業構成

(%)

	公務	製造業	建設業	農業	サービス業	卸売・小売・飲食店
H26	28.2	14.4	12.4	9.4	9.3	7.2
H9	30.2	11.6	10.2	11.5	8.9	12.1

※上表は、それぞれの調査において、割合が高かったものを掲載

### ○就労形態

(%)

	被雇用者	自営業者	その他	無回答
H26	59.2	19.1	16.1	5.6
H9	53.5	27.1	15.1	4.3

### ○職務形態

いずれの調査も、「仕事は他人との対応が多い」が4割台と最も多く、続いて、「力を使う仕事が多い」が2割台と多くなっています。

(%)

	H26						H9					
	の仕事は他人との対応が多い	が力が多いを使う仕事	手先が多いを使う仕事	仕事だけが多いを使う	その他	無回答	の仕事は他人との対応が多い	が力が多いを使う仕事	手先が多いを使う仕事	仕事だけが多いを使う	その他	無回答
全体	<b>44.9</b>	<b>23.0</b>	12.8	13.3	5.5	0.6	<b>43.3</b>	<b>23.6</b>	16.1	13.2	2.2	1.6
20歳未満	41.7	41.7	-	8.3	8.3	-	25.0	-	-	25.0	25.0	25.0
20歳代	<b>53.6</b>	18.1	8.9	15.9	3.0	0.7	<b>49.3</b>	14.7	12.6	19.7	2.1	1.6
30歳代	48.5	20.3	11.1	16.3	3.4	0.3	44.5	20.7	12.4	19.0	2.5	0.9
40歳代	47.7	20.8	12.2	14.8	4.3	0.2	42.0	26.0	17.2	11.5	1.8	1.5
50歳代	40.3	27.6	15.5	10.6	5.7	0.4	41.4	28.5	22.3	4.3	1.9	1.6
60歳代	33.0	29.8	16.4	6.5	12.4	1.9	35.4	32.4	22.4	2.4	3.4	4.0
70歳以上	29.5	15.4	14.1	2.6	32.1	6.4	31.0	22.4	24.1	6.9	6.9	8.6

※ 本文に係る数値と年代別の最大数値（20歳未満を除く。）を太字表示

○職務姿勢

いずれの調査も、「ほとんど座ったまま」が最も多く、続いて「立った状態の仕事が1日に3時間以上または歩き回ることが多い」が多くなっています。

(%)

		全 身 的 労 働 が 1 日 に 2 時 間 以 上 あ る	全 身 的 労 働 が 1 日 に 1 時 間 以 上 あ る	全 身 的 労 働 が 1 日 に 3 0 分 以 上 あ る	立 っ た 状 態 の 仕 事 が 1 日 に 3 時 間 以 上 ま た は 歩 き 回 る こ と が 多 い	立 っ た 状 態 の 仕 事 が 1 日 に 2 時 間 以 上 ま た は 座 業 と 歩 く の が 半 々	立 っ た 状 態 の 仕 事 が 1 日 に 1 時 間 以 上 ま た は 座 業 主 体	ほ と ん ど 座 っ た ま ま	無 回 答	
H 26	全 体	20.8	5.1	3.2	<b>21.5</b>	9.2	10.6	<b>28.0</b>	1.6	
	年 代 別	20歳未満	41.7	-	8.3	8.3	-	8.3	25.0	8.3
		20歳代	17.2	4.8	3.5	12.8	7.3	14.6	<b>38.8</b>	1.0
		30歳代	19.8	4.7	3.4	16.7	7.8	12.6	34.5	0.4
		40歳代	20.1	4.5	3.1	19.4	9.6	10.6	31.8	0.9
		50歳代	24.8	5.2	2.6	28.1	10.1	8.1	19.9	1.3
		60歳代	20.8	7.2	3.8	31.7	10.7	8.2	12.1	5.5
		70歳以上	14.1	10.3	2.6	21.8	12.8	6.4	14.1	17.9
H 9	全 体	8.7	8.8	2.3	<b>19.9</b>	19.2	16.2	<b>22.5</b>	2.3	
	年 代 別	20歳未満	-	-	-	-	-	50.0	25.0	25.0
		20歳代	7.4	4.2	2.2	9.9	15.1	24.0	<b>35.8</b>	1.4
		30歳代	8.8	7.2	1.8	15.8	16.5	18.5	29.8	1.7
		40歳代	9.1	9.1	2.2	23.8	19.9	13.8	20.1	1.9
		50歳代	8.9	11.4	3.5	28.9	24.9	11.4	8.3	2.6
		60歳代	9.4	17.4	2.6	22.4	23.0	11.2	5.8	8.2
		70歳以上	8.6	17.2	3.4	13.8	19.0	15.5	8.6	13.8

※ 本文に係る数値と年代別の最大数値（20歳未満を除く。）を太字表示

○労働時間

平成 26 年度の 1 か月当たりの平均残業時間は 25.2 時間となっています。

年代別で比較すると、いずれの調査も、40 歳代から 50 歳代が他の年代に比べて多くなっています。

(%)

		A 1 週の所定労働 時間 (平均)	B 1 か月の所定労働 時間 (平均)	C 1 か月の残業時間 (平均)	D 1 か月の総実労働時間 (B + C) (平均)	
H 26	全 体	40.8	175.5	<b>25.2</b>	200.7	
	年代別	20歳未満	26.6	114.4	42.1	156.5
		20歳代	38.0	163.4	22.7	186.0
		30歳代	40.2	172.8	23.9	196.7
		40歳代	<b>41.7</b>	<b>179.4</b>	<b>26.7</b>	<b>206.0</b>
		50歳代	<b>43.1</b>	<b>185.3</b>	<b>28.4</b>	<b>213.6</b>
		60歳代	38.4	165.0	19.1	184.1
		70歳以上	30.3	130.1	20.5	150.6
H 9	全 体	46.0	197.8	20.9	218.7	
	年代別	20歳未満	40.0	172.0	90.0	262.0
		20歳代	42.7	183.6	16.6	200.2
		30歳代	44.7	192.2	20.5	212.7
		40歳代	<b>47.7</b>	<b>205.1</b>	<b>22.5</b>	<b>227.6</b>
		50歳代	<b>49.1</b>	<b>211.1</b>	<b>22.8</b>	<b>233.9</b>
		60歳代	44.2	190.1	20.9	211.0
		70歳以上	42.8	184.0	21.5	205.5

※ 本文に係る数値を太字表示

※ 上記表に係る調査項目では、職業別に分けておらず、自営業者を含んでいます。

○団員としての活動時間

1 か月当たりの団員としての活動時間は、5 時間未満が最大の割合となっています。

(%)

	5 時間未満	5～10 時 間未満	10～15 時 間未満	15～20 時 間未満	20～25 時 間未満	25 時間 以上	無回答
H26	<b>46.8</b>	21.5	14.0	3.9	4.4	3.3	6.2
H9	<b>42.6</b>	23.6	13.4	4.1	3.8	2.7	9.7

※ 最大数値を太字で表示

## 【運動】

### ○ 通勤で徒歩等に費やす時間

いずれの調査も、「片道 10 分以上歩く」・「片道 20 分以上歩く」の割合は低く、「歩かない・通勤していない」の割合が最も高く、通勤時に歩いていない傾向が多くみられます。  
(%)

		片道合計 20 分以上歩く	片道合計 10 分以上歩く	片道合計 10 分未満歩く	歩かない・通勤していない	無回答	
H 26	全 体	<b>5.8</b>	<b>6.7</b>	38.3	<b>47.2</b>	2.0	
	年代別	20 歳未満	16.7	8.3	16.7	50.0	8.3
		20 歳代	2.7	7.9	40.2	48.5	0.7
		30 歳代	4.6	5.9	41.2	47.7	0.6
		40 歳代	5.0	6.4	43.0	44.7	0.9
		50 歳代	6.7	6.4	35.6	<b>49.4</b>	1.9
		60 歳代	10.6	8.6	25.3	47.9	7.5
		70 歳以上	16.7	12.8	19.2	29.5	21.8
H 9	全 体	<b>3.0</b>	<b>3.9</b>	35.5	<b>52.1</b>	4.6	
	年代別	20 歳未満	-	-	25.0	50.0	25.0
		20 歳代	2.3	3.5	44.3	49.0	0.8
		30 歳代	2.8	3.2	43.2	49.6	1.3
		40 歳代	3.8	4.2	34.6	52.8	4.5
		50 歳代	6.1	4.7	22.9	<b>57.7</b>	8.6
		60 歳代	5.8	4.4	16.4	56.4	17.0
		70 歳以上	20.7	3.4	12.1	39.7	24.1

※ 本文に係る数値と年代別の最大数値を太字表示（20 歳未満を除く。）

なお、通勤で自転車に乗る時間については、いずれの調査も、「自転車に乗らない・通勤していない」が 8 割台と最も多くなっていました。（表は省略）

### ○ 運動・スポーツの習慣

いずれの調査も、「定期的にはしていない」が約 5 割と多く、26 年度は過半数を超えています。

(%)

		全体	年代別						
			20 歳未満	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
H 26	定期的にはしていない	<b>51.7</b>	25.0	36.0	50.2	54.5	<b>56.2</b>	52.8	33.3
	何らかの運動・スポーツをしている。	47.5	75.0	63.6	49.5	45.0	42.9	44.7	58.9
	無回答	0.8	-	0.3	0.3	0.5	0.9	2.5	7.7
H 9	定期的にはしていない	<b>47.1</b>	25.0	34.1	47.8	<b>51.1</b>	48.8	50.8	43.1
	何らかの運動・スポーツをしている	51.7	75.0	65.3	51.8	47.7	49.0	44.6	55.2
	無回答	1.2	-	0.5	0.4	1.2	2.2	4.6	1.7

※ 本文に係る数値と「定期的にはしていない」の項目における年代別の最大数値を太字表示

○ 体を動かす趣味の有無について等

ジョギング等の体を動かす趣味を持っている者の割合については、平成 26 年度は約 5 割で、年代別にみると、いずれの調査も 20 歳代が他の年代に比べると運動の趣味を持っている傾向がみられます。

ふだんから歩くことをこころがけている割合及び日常生活でできるだけ体を動かすことをこころがけている割合については、平成 26 年度は 6 割台であり、年代別にみると、いずれの調査も、概ね高年齢になるほど割合が増える傾向がみられます。

(%)

「ジョギングなど体を動かす趣味を持っている」に「はい」と回答								
	全体	20 歳代 未満	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代 以上
H26	<b>48.3</b>	66.7	<b>64.5</b>	52.9	44.2	41.7	46.9	67.9
H9	63.9	75.0	<b>74.9</b>	65.0	61.9	59.4	55.6	62.1
「ふだんから歩くことをこころがけている」に「はい」と回答								
	全体	20 歳代 未満	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代 以上
H26	<b>60.3</b>	66.7	61.1	57.1	58.2	60.6	<b>70.6</b>	74.4
H9	52.3	—	43.3	46.2	52.9	63.8	<b>69.8</b>	69.0
「日常生活でできるだけ体を動かすことをこころがけている」に「はい」と回答								
	全体	20 歳代 未満	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代 以上
H26	<b>61.7</b>	58.3	59.7	56.9	57.8	64.7	<b>76.4</b>	87.2
H9	63.7	25.0	58.1	56.0	63.6	76.2	<b>81.2</b>	91.4

※ 本文に係る部分とそれぞれの表の年代別の最大数値（20 歳未満を除く。）を太字表示

なお、平成 9 年度については、文化的な趣味の有無についても調査をしており、半数以上（57.7%）が文化的な趣味をもっていませんでした。

年代別にみると、文化的な趣味を持っている割合については、年代が高くなるほど高くなる傾向がありました。（表は省略）

## 【日常生活習慣】

### ○ 飲酒習慣

平成 9 年度の「毎日、酒などアルコール類を飲む者」の割合は、半数を超えており、年代別にみると、特に 40 歳代から 50 歳代が 6 割を超えています。

(%)

「毎日、酒などのアルコール類を飲む」に「はい」と回答							
H9	全体	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代以上
	<b>56.4</b>	36.9	55.8	<b>64.6</b>	<b>61.2</b>	54.2	44.8

※ 本文に係る部分を太字表示

平成 26 年度の調査では、週当たりの平均飲酒回数は 3.6 回で 50 歳代から 60 歳代が 4 回台と多く、1 日当たりの飲酒量の平均は 1.6 合で、40 歳代から 50 歳代が 1.7 合と多くなっています。

(回、合)

H26	全体	年代別					
		20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代以上
ア. 週に何日くらいお酒を飲みますか(回)	<b>3.6</b>	2.0	3.1	3.8	<b>4.3</b>	<b>4.3</b>	3.9
イ. 1 日当たりどれくらいの量を飲みますか(合)	<b>1.6</b>	1.5	1.6	<b>1.7</b>	<b>1.7</b>	1.6	1.4

※日本酒 1 合：ビール500ml、焼酎（25度）110ml、酎ハイ（7度）350ml、ウイスキー（ダブル）60ml、ワイン240mlに相当

※本文に係る部分を太字表示

### ○ 喫煙習慣

喫煙習慣については、平成 9 年度に「吸う」と回答した者の割合は約 6 割、平成 26 年度に「現在吸っている」と回答した者の割合は約 4 割となっています。

(%)

喫煙者の割合							
	全体	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代以上
H26	<b>37.7</b>	35.2	<b>42.0</b>	39.9	37.2	27.6	15.4
H9	<b>57.5</b>	60.1	<b>64.6</b>	59.0	49.0	34.6	34.5

※ 設問の設計の関係上、厳密な比較とはなりません。H26 の欄には、平成 26 年度調査の「現在吸っている」の割合を掲載し、H9 の欄には、平成 9 年度調査の「吸う」の割合を掲載しました。また、本文に係る部分と年代別の最大数値を太字表示

なお、26 年度は、以前に吸っていた者の割合を調査しています。以前吸っていた者は約 3 割（29.6%）で、年代別に見ると特に 60 歳代以上が 4 割台と多くなっていました。

また、以前に吸っていた者については、1 日あたりの平均喫煙本数は 19.7 本、平均喫煙通算年数は 16.1 年となっていました。（表は省略）

## 【食事】

肥満や脂質異常症などに影響を与えると思われる調査項目について、列挙すると次のとおりとなっています。

- ・ 「エ 食事時間は、15分かけていない」の割合は、平成26年度は約5割、平成9年度は約6割となっています。
- ・ 「カ 甘いものや清涼飲料水をよくとる」の割合は、いずれの調査でも3割台となっています。
- ・ 「ク 常に腹いっぱい食べる習慣がある」の割合は、いずれの調査でも4割台となっています。
- ・ 「コ 味付けは薄目にしていない」の割合は、いずれの調査でも過半数を超えています。
- ・ 「ス 食べることに全く無頓着である」の割合は、いずれの調査でも2割台となっています。
- ・ 「ヒ 外食は、栄養バランスを考えては食べていない」の割合は、いずれの調査でも過半数を超えており、平成26年度は6割台、平成9年度は7割台となっています。

(%)

「はい」の割合 (%) 調査項目	年度	
	H26	H9
ア. 食品数をなるべく多くとるよう心がけていない	47.0	34.0
イ. 毎日の食事時間は規則正しくしていない	31.3	31.6
ウ. 朝食は必ずしもとっていない	26.3	23.9
<b>エ. 食事時間は、15分かけていない</b>	<b>49.2</b>	<b>55.7</b>
オ. 間食や夜食をよくとる	30.3	27.6
<b>カ. 甘いものや清涼飲料水をよくとる</b>	<b>32.2</b>	<b>37.5</b>
キ. 栄養剤・ビタミン剤・ドリンク剤などをよく飲む	17.6	21.7
<b>ク. 常に腹いっぱい食べる習慣がある</b>	<b>41.9</b>	<b>40.1</b>
ケ. 偏食・好き嫌いがある	24.6	27.8
<b>コ. 味付けは薄めにしていない</b>	<b>54.2</b>	<b>58.8</b>
サ. 家で朝食をとることが少ない	20.6	19.9
シ. 同僚と食べることが多い	14.3	13.8
<b>ス. 食べることに全く無頓着である</b>	<b>22.5</b>	<b>28.8</b>
セ. 家で作った弁当を食べることは少ない	44.9	49.9
ソ. 朝食を食べるより寝ていたいので食べないこともある	20.5	18.6
タ. 一日一回も家庭で食事をしないことがある	14.7	14.5
チ. 外食は接待しながら食べるが多い	9.1	10.8
ツ. アルコールは仲間と飲むことが多い	45.8	55.8
テ. 朝食はコンビニ・立ち食いそば・ファストフードが多い	6.4	2.6
ト. アルコールは主に仕事上のつきあいで飲むことが多い	33.3	35.8
ナ. 昼休み時間を自分の好きなことのために使うことはない	28.5	39.3
ニ. 家族のために自分で朝食を作ることはない	67.5	85.7
ヌ. 休日に家族と一緒に食事をするのは少ない	17.6	27.4
ネ. 前夜の飲み過ぎ食べ過ぎで食欲がなく食べないことが多い	11.8	14.1
ノ. 休日は自分の都合に合わせて食事をとることが多い	42.3	43.8
ハ. 仕事が忙しくて食事を抜くことがある	17.0	14.1
<b>ヒ. 外食は、栄養のバランスを考えては食べていない</b>	<b>61.7</b>	<b>74.4</b>
フ. 休日の朝食はとらない	18.5	20.5
ヘ. アルコールは、家で晩酌程度に飲むことは少ない	36.7	46.1
ホ. 人を自宅に招いて手料理でもてなすことは少ない	85.4	90.8

※ 本文に係る部分を太字表示

上表を年代別に示すと次のとおりとなります。

- ・ 「エ 食事時間は、15分かけていない」の割合は、平成26年度は30歳代の5割台が最大、平成9年度は20歳代の7割台が最大となっています。
- ・ 「カ 甘いものや清涼飲料水をよくとる」の割合は、平成26年度は20歳代の5割台が最大、平成9年度は20歳代の4割台が最大となっています。
- ・ 「コ 味付けは薄目にしていない」の割合は、平成26年度は20歳代から40歳代が5割台後半と高く、平成9年度は20歳代から30歳代が6割台後半と高くなっています。
- ・ 「ス 食べることに全く無頓着である」の割合は、平成26年度は40歳代の2割台が最大で、平成9年度は20歳代の3割台が最大となっています。
- ・ 「外食は、栄養バランスを考えては食べていない」の割合は、いずれの調査でも、20歳代から30歳代が平均を超えて高く、平成26年度は20歳代の約7割が最大、平成9年度は20歳代の約8割が最大となっています。

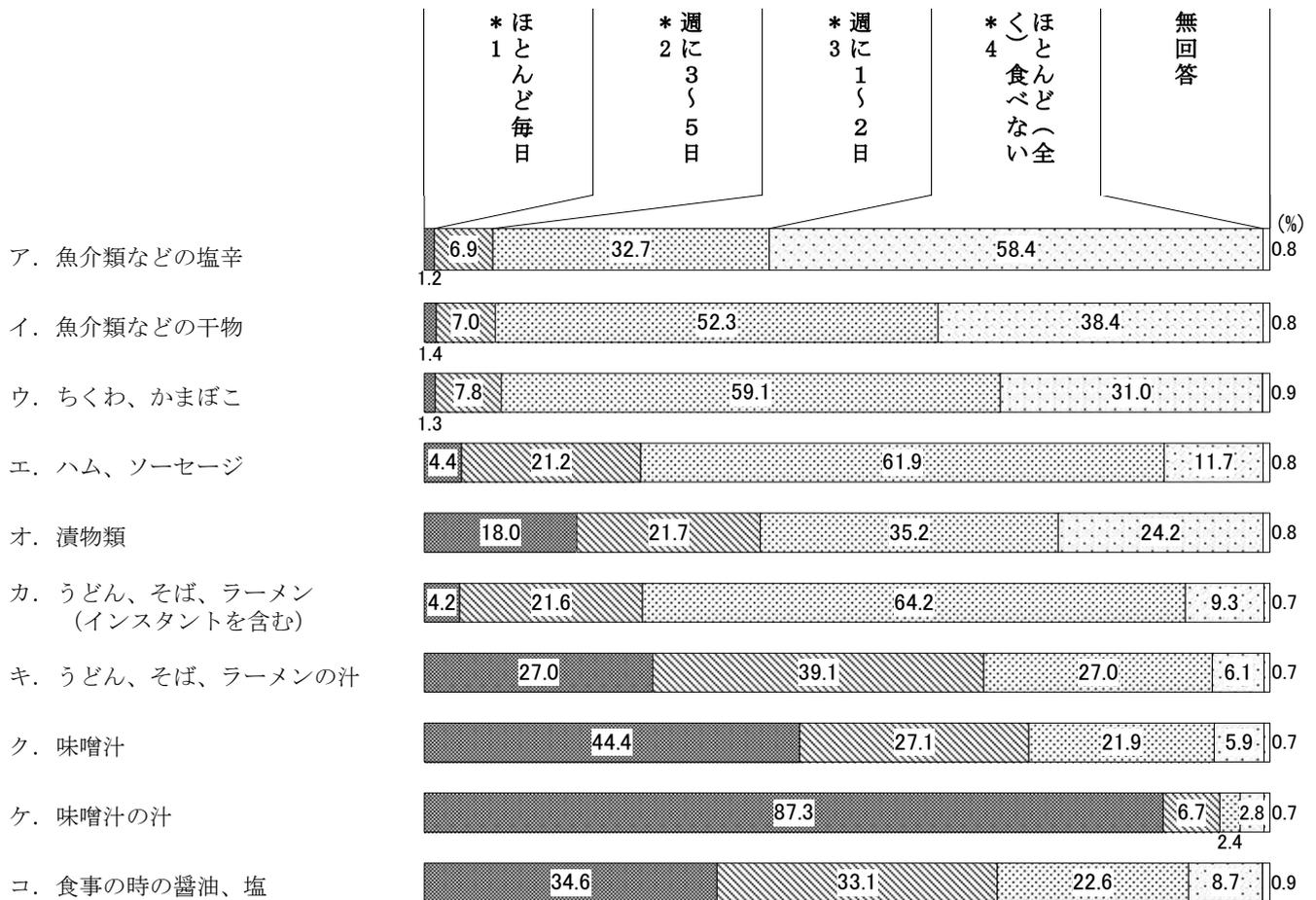
(%)

年代別「はい」の割合	H26							H9						
	年代別							年代別						
	未20歳	代20歳	代30歳	代40歳	代50歳	代60歳	以上70歳	未20歳	代20歳	代30歳	代40歳	代50歳	代60歳	以上70歳
ア. 食品数をなるべく多くとるよう心がけていない	50.0	52.4	46.5	45.8	44.8	51.5	43.6	50.0	54.4	40.9	27.4	21.7	16.4	17.2
イ. 毎日の食事時間は規則正しくしていない	41.7	41.9	34.3	32.2	27.2	22.3	20.5	25.0	49.3	34.7	27.4	25.0	13.6	13.8
ウ. 朝食は必ずしもとっていない	58.3	40.1	31.3	26.4	21.1	14.4	9.0	-	41.4	29.2	19.2	14.7	5.2	3.4
エ. 食事時間は、15分かけていない	16.7	47.8	<b>54.3</b>	52.8	47.3	36.7	19.2	25.0	<b>70.6</b>	66.2	51.7	40.1	32.4	19.0
オ. 間食や夜食をよくとる	41.7	39.3	36.4	31.5	23.5	20.1	17.9	25.0	35.7	30.0	27.9	20.1	17.9	10.3
カ. 甘いものや清涼飲料水をよくとる	58.3	<b>46.2</b>	38.2	29.8	26.4	25.7	16.7	75.0	<b>47.6</b>	40.4	35.3	30.5	27.4	27.6
キ. 栄養剤・ビタミン剤・ドリンク剤などをよく飲む	16.7	22.6	19.5	16.5	15.8	16.3	10.3	25.0	19.0	21.5	20.8	24.6	26.2	24.1
ク. 常に腹いっぱい食べる習慣がある	16.7	42.2	<b>48.7</b>	44.7	36.9	30.7	32.1	50.0	42.9	<b>43.6</b>	40.4	33.7	32.6	24.1
ケ. 偏食・好き嫌いがあ	50.0	32.9	27.7	24.1	21.4	19.0	7.7	25.0	36.0	29.8	24.7	24.0	24.2	13.8
コ. 味付けは薄めにしていない	58.3	<b>59.3</b>	<b>58.9</b>	<b>55.8</b>	51.2	43.4	28.2	75.0	<b>68.7</b>	<b>65.8</b>	57.5	49.4	34.4	34.5
サ. 家で朝食をとることが少ない	58.3	30.8	24.8	21.4	16.2	9.7	7.7	25.0	33.2	23.1	16.1	13.3	9.0	5.2
シ. 同僚と食べることが多い	16.7	29.8	17.7	12.7	9.6	7.9	7.7	-	20.3	15.2	11.8	11.4	7.8	12.1
ス. 食べることに全く無頓着である	33.3	21.0	22.4	<b>24.9</b>	23.2	16.2	19.2	-	<b>33.0</b>	29.4	27.7	26.7	24.4	24.1
セ. 家で作った弁当を食べることは少ない	41.7	37.3	46.2	47.2	44.4	43.7	37.2	50.0	52.0	54.2	49.4	47.1	36.2	34.5
ソ. 朝食を食べるより寝ていたいので食べないこともある	58.3	43.0	27.8	20.1	12.0	4.8	2.6	-	39.8	23.8	12.5	7.4	4.2	3.4
タ. 一日一回も家庭で食事をしないことがある	25.0	24.9	19.1	14.6	10.1	6.1	7.7	25.0	25.0	13.4	11.2	12.6	12.4	19.0
チ. 外食は接待しながら食べるが多い	16.7	9.4	8.7	8.7	9.3	9.5	12.8	25.0	6.6	9.3	12.0	14.2	13.8	15.5
ツ. アルコールは仲間と飲むことが多い	16.7	69.9	53.8	44.6	36.2	31.6	28.2	75.0	75.3	60.4	51.0	45.3	40.0	27.6
テ. 朝食はコンビニ・立ち食いそば・ファストフードなどが多い	25.0	10.2	8.4	7.1	4.0	1.9	-	-	4.2	3.2	2.1	1.5	1.6	-
ト. アルコールは主に仕事上のつきあいで飲むことが多い	8.3	55.4	40.9	30.7	24.7	22.6	20.5	75.0	43.9	37.3	33.2	31.7	34.0	34.5
ナ. 昼休み時間を自分の好きなことのために使うことはない	16.7	23.3	25.4	30.4	32.7	26.4	21.8	50.0	33.9	36.6	41.6	43.6	42.4	44.8
ニ. 家族のために自分で朝食を作ることはない	83.3	75.1	67.5	66.5	67.4	64.9	55.1	100.0	93.1	87.0	84.1	84.7	73.4	75.9
ヌ. 休日に家族と一緒に食事をするのは少ない	50.0	32.3	16.6	15.1	16.8	15.3	12.8	25.0	52.6	20.8	21.8	28.3	23.2	29.3
ネ. 前夜の飲み過ぎ食べ過ぎで食欲がなく食べないことが多い	-	18.9	16.6	11.9	7.2	4.3	5.1	-	22.0	17.2	12.1	8.4	5.4	5.2
ノ. 休日は自分の都合に合わせて食事をとることが多い	75.0	69.7	48.3	42.0	35.0	23.7	15.4	75.0	72.5	47.0	36.7	33.7	23.0	22.4
ハ. 仕事が忙しくて食事を抜くことがある	16.7	21.1	19.9	17.7	15.3	8.8	10.3	-	15.1	14.5	13.2	15.2	10.6	12.1
ヒ. 外食は、栄養のバランスを考えては食べていない	83.3	<b>69.4</b>	<b>66.4</b>	63.3	57.1	51.4	41.0	100.0	<b>83.0</b>	<b>78.3</b>	73.9	68.6	55.8	48.3
フ. 休日の朝食はとらない	41.7	38.4	23.6	17.2	12.5	6.4	3.8	-	46.8	22.6	13.6	11.3	7.0	3.4
ヘ. アルコールは、家で酔酌程度に飲むことは少ない	41.7	55.8	41.0	35.9	30.3	26.6	24.4	75.0	67.4	47.8	40.0	38.5	38.6	41.4
ホ. 人を自宅に招いて手料理でもてなすことは少ない	91.7	86.1	85.9	87.7	85.1	79.7	69.2	100.0	96.1	94.1	91.2	85.6	75.2	77.6

※ 本文に係る部分を太字表示

また、平成 26 年度の調査では、2 週間前の食事状況についても調査しています。

特徴的な傾向としては、ほとんど毎日味噌汁の汁を飲む人が約 9 割（87.3%）と特に多く、うどん・そば・ラーメンを週に 1～2 回食べる人が 6 割台（64.2%）、食事の時に醤油・塩をほとんど毎日使う人は 3 割台（34.6%）となっています。



キとケについては、\*1：ほとんど（全部）飲んでしまう \*2：半分以上飲んでしまう  
 \*3：少しだけ飲んでしまう \*4：ほとんど（全く）食べない  
 コについては、\*1：ほとんど毎食使う \*2：1日1回は使う  
 \*3：週に数回使う \*4：ほとんど（全く）使わない

## 【睡眠】

平成9年度については、平日の睡眠時間が7時間以上である人の割合は、約6割(57.9%)となっています。

平成26年度については、ふだん1日に何時間くらい眠るかを調査しましたが、「6～7時間未満」や「7～8時間未満」がそれぞれ3割台と多くなっています。

(%)

平成9年度調査	はい	いいえ
平日の睡眠時間は7時間以上である	<b>57.9</b>	38.3

※ 本文に係る部分を太字表示

(%)

平成26年度調査	4時間未満	未4～5時間	未5～6時間	未6～7時間	未7～8時間	8時間以上	無回答
1日の睡眠時間	0.3	1.4	11.1	<b>35.0</b>	<b>33.3</b>	18.2	0.7

※ 本文に係る部分を太字表示

(%)

「睡眠時間は7時間以上」※								
	全体	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
H26	51.5	75.0	47.1	47.6	47.3	54.5	66.9	67.9
H9	57.9	50.0	45.2	55.9	59.5	65.6	69.6	69.0

※ H26については、「7時間以上」は上表の「7～8時間未満」・「8時間以上」を合算しました。

なお、平成26年度は、睡眠量や睡眠の質についても調査しています。

睡眠量については、5割強(52.2%)の人が「じゅうぶんである」と感じており、年代別にみると、20歳から40歳代は「少し足りない」の割合が4割台とやや高くなっていました。

睡眠の質については、5割強(51.9%)の人が「満足している」と感じており、年代別にみると、「満足している」は60代以上では6割台と高く、「少し不満である」は40代以下で4割台と高くなっていました。(上記についての表は省略)

【ストレス】

平成 26 年度は、日本版 S T A I (※) を用いて尋ねています。

※ 読みは「スタイ」。状態不安および特性不安検査。項目数はいずれも 20 項目で、不安に関する実験研究やスクリーニング・テストや臨床・調査研究に幅広く用いられる。

状態不安とは刻々と変化する状態、特性不安は不安になりやすい性格傾向を指す。

アンケート調査の設問項目に対する選択肢に応じて点数化をし、その得点集計結果に基づき、状態不安と特性不安それぞれのストレスの度合いを測っています。

参考までに、状態不安についてのみ、調査概要を掲載します。

○状態不安

日本版 S T A I (状態不安) の段階

段階	状態	性別	
		男性	女性
段階Ⅰ	非常に低い	23未満	22未満
段階Ⅱ	低い	23～31	22～30
段階Ⅲ	普通	32～40	<b>31～41</b>
段階Ⅳ	高い	<b>41～49</b>	42～50
段階Ⅴ	非常に高い	50以上	51以上

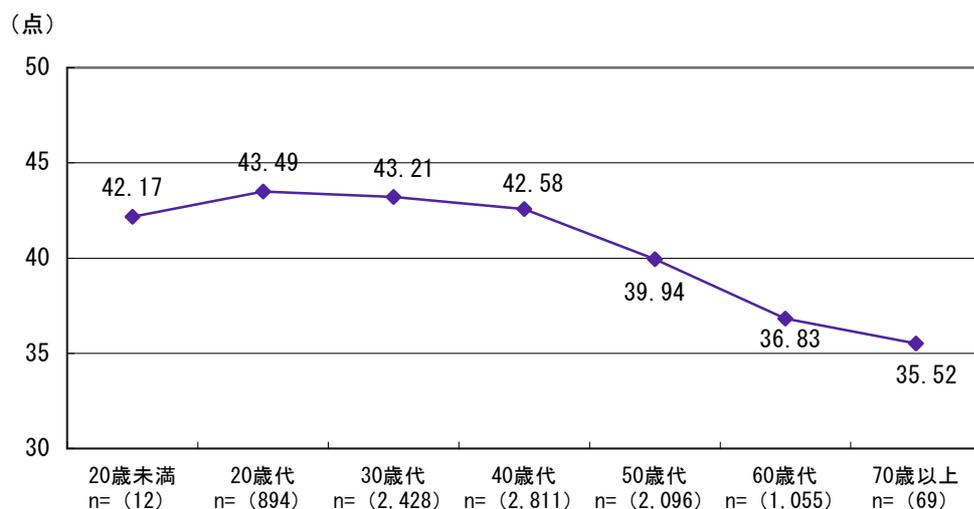
消防団員の状態不安の平均は男性41.57点、女性40.48点となっており、男性は「段階Ⅳ(高い)」、女性は「段階Ⅲ(普通)」状態にあります。

年代別に状態不安の点数の平均をみると、40歳代以下では42～43点台で、段階Ⅳのストレスが高い状態ですが、50歳代以上では35～39点台で、段階Ⅲのストレスが普通の状態となっています。

年代が低いほど、ストレスが高い傾向となっていますが、その原因については、不明です。

年代別 日本版 S T A I (状態不安) の点数の平均

※nは回答者数



## 【健康】

定期健康診断を毎年受診している割合については、平成 26 年度には 85.0%、平成 9 年度は 77.1%となっています。

年代別にみると、平成 9 年度は概ね年齢が高くなるほど受診している割合が多くなる傾向があり、平成 26 年度は 20 歳代以上の年代で 8 割を超えています。

(%)

「定期健康診断を毎年受けている」に「はい」と回答								
	全体	20 歳代未満	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代以上
H26	<b>85.0</b>	41.7	88.1	86.1	86.1	83.5	80.5	<b>88.5</b>
H9	<b>77.1</b>	50.0	76.6	76.2	76.5	77.8	81.8	<b>82.8</b>

※ 本文に係る部分と年代別の最大数値を太字表示

健康診断などで「異常がある」と診断された人の割合については、いずれの調査も「いいえ」の回答が 5 割台（H9：53.9%、H26：57.4%）と多くなっています。

なお、参考までに、「健康診断などで異常があると診断されている」に「はい」と回答した人の年代別の割合を示すと、下表のとおりです。

(%)

「健康診断などで異常があると診断されている」に「はい」と回答 (年代別)								
	全体	20 歳代未満	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代以上
H26	39.9	8.3	19.3	32.2	44.7	<b>47.2</b>	47.0	38.5
H9	44.9	25.0	28.7	43.6	51.7	<b>48.9</b>	45.6	39.7

※ 年代別の最大数値を太字表示

健康上の問題の有無について調査したところ、なんらかの問題がある（あった）者の割合は、平成9年度は7割強（71.7%）、平成26年度は8割強（81.3%）となっています。

健康上の問題が「現在ある」人の問題点の割合については、平成26年度は「肥満」、「コレステロール値が高い」、「腰痛」、「血圧が高い」の順に高く、平成9年度は「肥満」、「腰痛」、「コレステロール値が高い」、「血圧が高い」の順に高くなっています。

(%)

		現在そうである	過去にあった	なし	無回答	
H 26	全体	<b>81.3</b> (ア～コのいずれかにあてはまる)		16.6	2.1	
	設問別	ア. 血圧が高い	<b>21.8</b>	<b>10.0</b>	63.9	4.4
		イ. コレステロールが高い	<b>29.1</b>	<b>13.9</b>	52.2	4.8
		ウ. 肥満である	<b>29.5</b>	<b>9.1</b>	57.0	4.4
		エ. 心疾患（狭心症、心筋梗塞等）がある	2.4	1.9	90.7	5.0
		オ. 脳血管疾患（脳出血、脳梗塞等）がある	0.5	1.2	93.2	5.1
		カ. 糖尿病がある	4.6	1.2	89.4	4.8
		キ. 尿酸値が高い	11.8	8.0	75.1	5.0
		ク. 胃・十二指腸潰瘍がある	1.4	10.1	83.6	4.9
		ケ. 肝機能障害がある	9.2	5.8	80.3	4.7
コ. 腰痛がある	<b>27.6</b>	<b>20.0</b>	48.3	4.1		
		現在そうである	過去にそうであったことがある	該当しない	無回答	
H 9	全体	<b>71.7</b> (A～Iのいずれかにあてはまる)		26.3	2.0	
	設問別	A. 血圧が高い	<b>14.1</b>	<b>16.1</b>	67.8	2.0
		B. コレステロールが高い	<b>18.9</b>	<b>12.6</b>	66.6	2.0
		C. 肥満がある	<b>27.3</b>	<b>8.1</b>	62.5	2.0
		D. 狭心症の発作がある	0.8	5.5	91.8	2.0
		E. 糖尿病がある	2.8	4.8	90.4	2.0
		F. 尿酸値が高い	5.5	7.4	85.2	2.0
		G. 胃・十二指腸潰瘍がある	2.4	14.5	81.2	2.0
		H. 肝機能障害がある	7.1	9.4	81.5	2.0
		I. 腰痛がある	<b>23.7</b>	<b>21.2</b>	53.2	2.0

※ H26 と H9 の調査では、調査項目の番号標記・回答項目の表現が違うものの、設問項目は、一部を除いて同じです。なお、一部の異なる点については、H9 においては、「オ. 脳血管疾患がある」の項目がなく、H9 では「狭心症の発作がある」であったものが、H26 では「心疾患（狭心症、心筋梗塞等）がある」となっています。また、本文に係る部分を太字表示。

※ 本表に係る調査項目においては、問題があるかないかを判断するための具体的な参考数値などを示しておらず、回答者による自由回答となっています。

なんらかの健康上の問題が現在ある者のうち、自覚症状がなく、致命的な合併症を発病する生活習慣病に係る項目について、下表のとおりです。

また、「尿酸値が高い」・「糖尿病がある」については、全体的にみると割合は少ないものの、「尿酸値が高い」は11.8%、「糖尿病がある」は4.6%となっています。

<「現在そうである」の年代別の割合>

(%)

血圧が高い								
	全体	20歳代 未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代 以上
H26	21.8	8.3	7.2	11.4	19.8	<b>32.7</b>	<b>39.1</b>	<b>35.9</b>
H9	14.1	—	6.5	10.0	16.0	20.9	23.0	22.4
コレステロールが高い								
	全体	20歳代 未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代 以上
H26	29.1	—	13.7	24.4	<b>32.4</b>	<b>36.3</b>	<b>30.4</b>	25.6
H9	18.9	—	10.7	19.0	22.4	21.1	15.8	6.9
肥満である								
	全体	20歳代 未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代 以上
H26	29.5	8.3	17.6	27.6	<b>32.2</b>	<b>33.3</b>	29.8	23.1
H9	27.3	25.0	19.2	27.5	<b>30.7</b>	29.9	23.6	15.5
糖尿病がある								
	全体	20歳代 未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代 以上
H26	<b>4.6</b>	—	—	1.3	3.7	7.1	11.9	14.1
H9	2.8	—	0.3	1.1	2.8	6.3	8.0	5.2
尿酸値が高い								
	全体	20歳代 未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代 以上
H26	<b>11.8</b>	—	6.1	10.3	13.8	13.8	10.9	10.3
H9	5.5	—	2.2	5.5	6.7	6.2	5.8	1.7

※ 本文に係る部分と、年代別については30%以上の数値を太字表示

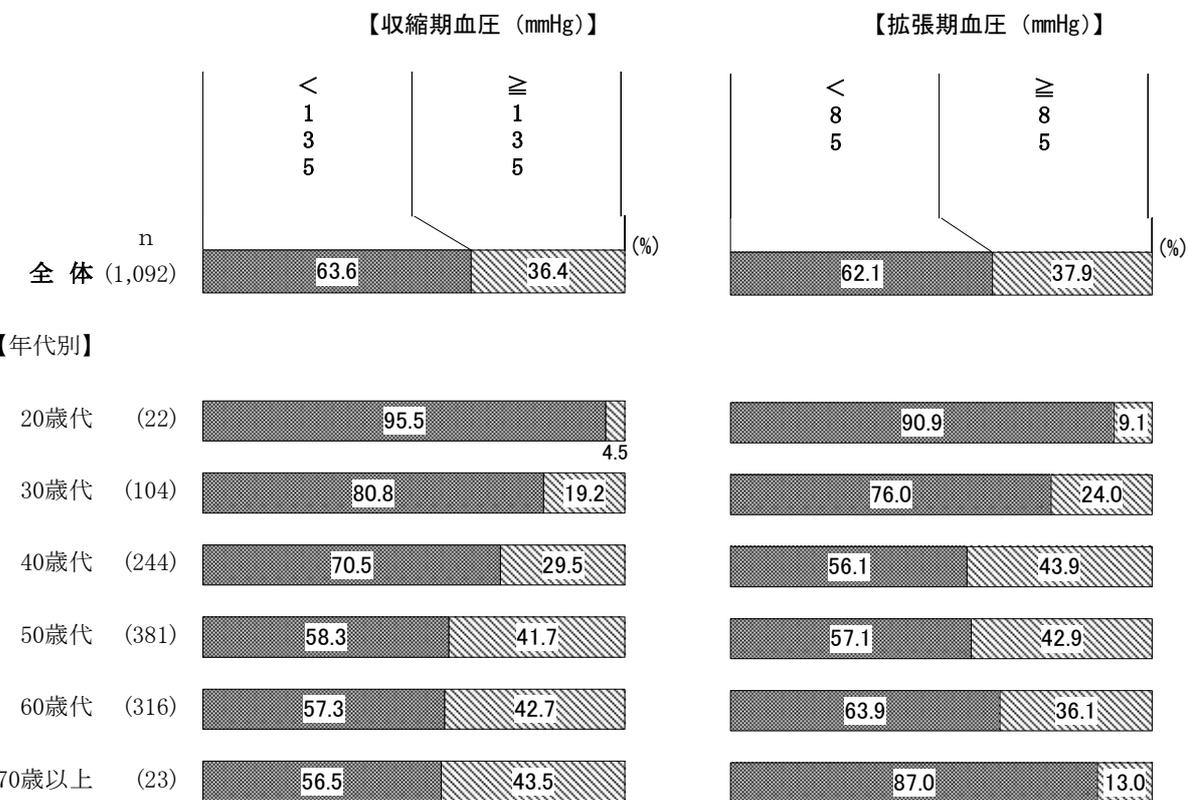
○ 血圧

平成26年度については、自宅に家庭用血圧測定器がある方に、次の条件下での血圧測定をお願いして調査を行っています。

**【御家庭に家庭用血圧測定器があるかたのみお答えください。】**  
**問31 朝の血圧を3日間、次の測定方法により、御自身で測定し、記入してください。**  
 (測定期間)：2週間のうち、平日の3日間(とびとびでもかまいません)  
 (測定条件)：次の5つの条件を満たしたうえで測定してください。  
 > 起床後1時間以内、排尿後、朝食前、服薬前、座った姿勢で1~2分安静後  
 (測定方法)：基本的に2回続けて測定、2回分記入してください。

家庭計測における高血圧基準をもとに分布をみると、収縮期血圧(最高)135mmHg以上は36.4%、拡張期血圧(最低)85mmHg以上は37.9%となっています。

年代別にみると、収縮期血圧(最高)135mmHg以上は年代が高いほど多く、50歳代以上で4割台となっています。拡張期血圧(最低)85mmHg以上は40・50歳代で4割台となっています。(※回答者数は1,092人)



(注) 異なる測定法における高血圧基準 (mmHg)

	収縮期血圧		拡張期血圧	
家庭血圧	≥135	かつ/または	≥85	
診察室血圧	≥140	かつ/または	≥90	

※「かつ/または」の読み方

収縮期血圧、拡張期血圧の両方が基準値以上の人及び収縮期血圧、拡張期血圧の片方が基準値以上の人が高血圧に該当します。